

環境経営レポート



国道465号線脇へ錦織商店が植樹した桜並木 平成28年4月8日撮影

対象期間

2021年8月1日～2022年7月31日

発行日：2022年10月21日

株式会社 錦織商店

-目次-

- 1.組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等)
- 2.対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日
- 3.環境経営方針
- 4.環境経営目標
- 5.環境経営計画
- 6.環境経営目標の実績
- 7.環境経営計画の取組み結果とその評価及び次年度の取組み
- 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 9.代表者による全体評価と見直し・指示

1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

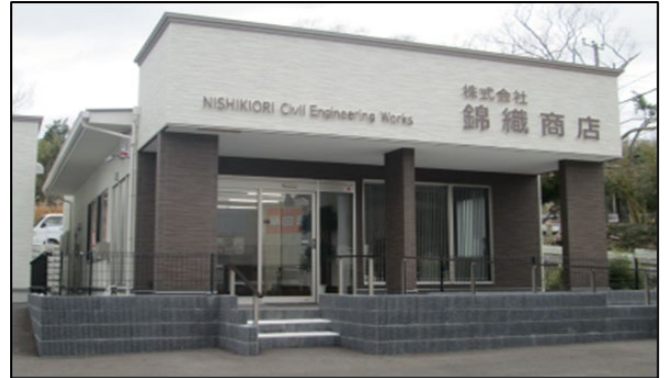
会社名：株式会社錦織商店
 代表者名：代表取締役 錦織 浩美

(2) 所在地

- 本店：〒299-1731 富津市田倉 483 番地 22
- 湊支店：〒299-1607 富津市湊 231-1
- 建設発生土埋立場：〒299-1731 富津市田倉字東谷 52 番、他

(3) 事業の概要

- 法人設立年月日 1959年2月3日
- 資本金 20,000,000円
- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 環境管理責任者：錦織 榮吉
 環境管理責任者の代理人：前澤美代子
 連絡先：富津市田倉 483 番地 22
 電話：0439-68-1553/080-3699-1118(携帯)
 FAX：0439-68-1653



湊支店

●事業活動

a) 廃棄物処理

- ①産業廃棄物収集運搬業
- ②産業廃棄物中間処理業
- ③産業廃棄物再生業
- ④一般廃棄物収集運搬業
- ⑤一般廃棄物中間処理業
- ⑥建設残土処分業

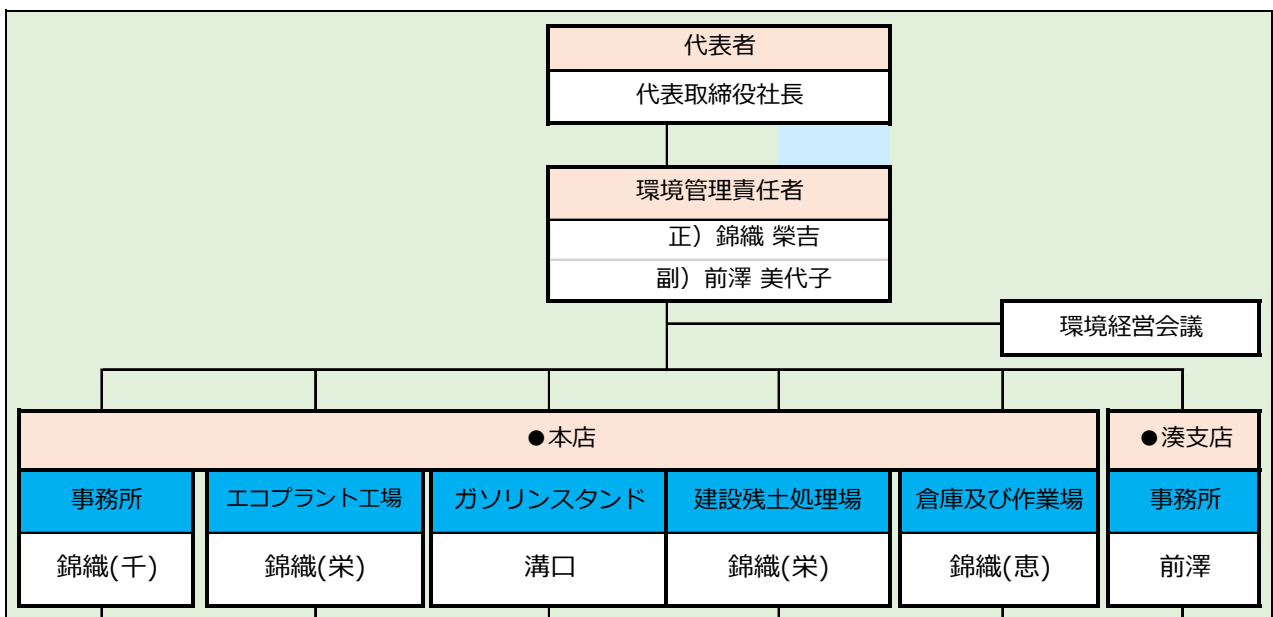
b) 建設工事

- ①土木工事業
- ②管工事業
- ③浄化槽工事業
- ④水道施設工事業

c) 燃料販売業

d) 給湯器及び土木資材の販売業

●組織図 (2021年8月1日 現在)



主な役割と責任、権限

代表者（社長）	環境経営方針の策定と誓約
	EA2 1 構築・実施のための経営資源提供
	EA21 全体の評価と見直し（マネジメントレビュー）
	課題とチャンスの決定
環境管理責任者	環境目標・活動計画策定
	遵守状況の確認と遵法性評価
	外部環境情報窓口及び対応
	内部コミュニケーションの情報提供（発信）
	EA21 活動計画の達成及び実施状況等の管理
	代表者への活動状況報告
推進責任者	是正、予防措置の実施
	環境コミュニケーションの実施
	環境教育・訓練等の実施及び緊急時対応

(4) 事業規模

- 売上高 : 614 百万円 (2021 年度実績 : 2021/8/1~2022/7/31)
- 従業員数 : 36 名 (契約職員、パート職員を含む)
- 本店敷地面積 : 15,000 m² (下表 : 主な施設の面積)

本店事務所	77m ²	建設残土埋立処分場	9,652m ²
エコプラント工場 (建設残土再生処分場を含む)	3,165m ²	湊支店事務所	1,095m ²
ガソリンスタンド	500m ²		

(湊支店は 2019.10 月に移設)

(5) 業の許可の内容

a) 廃棄物処分量 (収集運搬、中間処理並びに再生)

①産業廃棄物収集運搬業 (積保除く)				許可品目 (○)						
No	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず・コンクリートくず	がれき類
1	千葉県	第01200069142 優良認定取得	2017/10/31~2024/10/30	○	○	○	○	○	○	○

②産業廃棄物処分量 (中間処理: 破碎)				許可品目 (○)						
No	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず・コンクリートくず	がれき類
2	千葉県	第01220069142 優良認定取得	2018/8/2~2025/8/1	○	○	○	○	○	○	○

③産業廃棄物再生事業者登録				廃棄物の再生に係る事業の内容
No	都道府県市区町村	登録番号	登録年月日	
3	千葉県	登録証明書第 160 号	2011/3/31	がれき類の再生
				木くずの再生

④一般廃棄物収集運搬業				許可品目 (○)		
No	市町村	許可番号	許可年月日及び有効期限	家庭ごみ	事業系ごみ	家電法機器
4	富津市	富津市許可(一)第 22 号 積替え保管有り*	2022/4/1~2024/3/31	○	○	○

*積替え保管場: 保管容量 176.28 m³、高さ 2m 以下

⑤一般廃棄物処分量				許可品目 (○)		
No	市町村	許可番号	許可年月日及び有効期限	木くず	草	竹
5	富津市	富津市許可(処)第 2 号	2023/2/26~2025/2/25	○	○	○

建設発生土埋立処分量 (建設発生土による特定事業場)					
No	市町村	許可番号	許可年月日及び有効期限	面積 (m ²)	埋立量 (m ³)
6	富津市	富津市指令第 770 号	2022/1/20~2025/2/25	9,651	31,006

工事等により発生した土のトロンメル(篩)による再生事業				
No	市町村	届出番号	特定施設の届出	使用機械
7	富津市	富環第 530 号	平成 21 年 9 月 8 日	トロンメル 1 基、重機 3 台

b)建設工事業 (土木工事、管工事、水道施設、浄化槽工事)

一般建設業の許可				建設業の種類
No	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	
8	千葉県	許可(般-3)第 18565 号	2021/9/14~2026/9/13	土木工事業
			2021/9/14~2026/9/13	管工事業 水道施設工事業 とび・土木工事業 舗装工事業 解体工事業

浄化槽工事業		
No	都道府県	許可番号
9	千葉県	許可(届-60)第 390 号

c)燃料販売業 (ガソリン、灯油、木炭等の販売)

液化石油ガス販売事業者証			
No	都道府県	許可番号	許可年月日
10	千葉県	登録番号 12A0771	1997 年 4 月 14 日

特定液化石油ガス設備工事業者証			
No	都道府県	許可番号	許可年月日
11	千葉県	保安第137号の15-52番	昭和56年8月31日

石油製品販売業者証		
No	所管行政	許可番号
12	通産省	通産省第3-12-0-5122号

(6) 施設の状況

●中間処理（エコプラント及び建設発生土埋立処分場）

搬入		処理施設		処理後の再生資源	有価売却	二次委託処理		
廃棄物の分類/種類		施設の種類	処理能力	破碎処理/再生資源	再生利用先	処理施設名	処理後の品目	最終処理
がれき類	コンクリートがら	破碎	360 t/d	再生建設資材 ・RC40-0 ・RM30-0 ・アスコン-0	自社 工務店 自治体 個人等 (再生利用)			
	アスコンがら							
	その他のがれき類							
木くず	伐採木	破碎	4.72 t/d	木材チップ	建材 畜産家/農家等 (再生利用)			
	伐根							
	解体くず			木くず(焼却処理)	(二次処理委託)	中間処理場	燃え殻	埋立処分
ガラス陶くず	ガラス・陶磁器	破碎	360 t/d	ガラス・陶磁器 (埋立処理)	(直接埋立処理)			埋立処分
	瓦	破碎	360 t/d	再生碎石	自社/工務店 個人等			
	石膏ボード	破碎	360 t/d		(二次処理委託)	中間処理場	再資源	埋立処分
紙くず	紙くず	破碎	1.44 t/d	紙再生材	再生業者			
	段ボール			紙くず(焼却処理)	(二次処理委託)	中間処理場	燃え殻	埋立処分
金属くず		破碎	2.6 t/d	金属再生材	金属再生業者			
				金属くず(埋立処理)	(直接埋立処理)			埋立処分
廃プラスチック		破碎	4.27 t/d	再生プラスチック材	再生業者			
				繊維くず(焼却処理)	(二次処理委託)	中間処理場	燃え殻	埋立処分
繊維くず		破碎	4.27 t/d					
混合		手選別		選別後に各品目毎に自社で再生処理				
建設発生土		埋立	19,632m ³	自社埋立処理				

● 収集・運搬登録車両及び車両系建設機械等

車両ナンバー				車種	産廃	一廃 富津
袖ヶ浦	130	そ	230	10tダンプ	○	○
袖ヶ浦	100	ら	220	10tダンプ	○	○
袖ヶ浦	130	す	280	10tダンプ	○	○
袖ヶ浦	130	す	260	10tダンプ	○	○
袖ヶ浦	100	は	584	10tダンプ	○	○
袖ヶ浦	130	て	270	10tダンプ	○	—
袖ヶ浦	101	ふ	1111	キャブオーバー	○	—
袖ヶ浦	11	て	1765	7tダンプ	○	○
袖ヶ浦	101	ふ	111	4tアームロール	○	○
袖ヶ浦	11	つ	411	4tトラッククレーン	○	○
袖ヶ浦	100	ま	333	3tダンプ	○	○
袖ヶ浦	130	な	300	3tダンプ	○	○

袖ヶ浦	400	ろ	75	2tダンプ	○	○
袖ヶ浦	430	す	6161	2tトラック	○	○
袖ヶ浦	40	ふ	2794	軽ダンプ	○	○
袖ヶ浦	483	く	200	軽キャブオーバ-	○	○
袖ヶ浦	430	は	112	脱着	○	—
袖ヶ浦	485	せ	33	軽キャブオーバー	○	—
袖ヶ浦	400	さ	4141	小型貨物キャブオーバー	○	—
袖ヶ浦	43-	け	5151	小型貨物キャブオーバー	○	—

建設機械及びエコプラント破碎機等

- ・タイヤショベル 3台
- ・細粒型ジョークラッシャー 1基
- ・キャタピラ破碎機 1台
- ・二軸引き割り剪断式破碎機施設 1基
- ・パワーシャベル 12台
- ・一軸衝撃式粉石式破碎施設 1基
- ・エコプラント用ディーゼル発電機 (出力160kw) 1基
- ・篩機 3台(再生砂用トロンメルン1台、振動篩2台)

(7) 事業実績 (2021年度実績: 2021/8/1~2022/7/31)

区分	区分	単位	実績
収集運搬量 *一般廃棄物は市処分場への搬入を含む	産業廃棄物	t	20,994
	一般廃棄物(自車運搬分)	t	41
中間処理量	産業廃棄物(a)	t	38,785
	一般廃棄物(自車+持込み)	t	2,460
再資源化量	産業廃棄物(b)	t	41607
	一般廃棄物	t	887
再資源化率 (b)/(a)*100		%	99.5
建設系残土受入量、再生量	受入れ	m ³	830
	再生量	m ³	805
	埋立	m ³	25
建設工事の件数	土木工事、管工事、舗装工事、解体工事	件	33
自社工事に伴う建設系廃棄物量(c)	がれき類、ガラス・陶磁器くず、木くず、廃プラ、金属くず等	t	830
同上 建設系廃棄物の再資源化量(d)	がれき類、木くず、廃プラ、金属くず等	t	805
同上 再資源化率(d)/(c)*100		%	97
同上 残土発生量		m ³	158.5
同上 残土埋立量		m ³	105.7
太陽光発電量 (2021年6月11日~)		kWh	106,456

(8) 環境への負荷の状況(2021/8/1~2022/7/31)

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素総排出量 (注1)	t-CO ₂	570	718	617
電気使用量	kWh	92,490	100,593	103,572
軽油使用量	ℓ	177,326	233,809	198,096
ガソリン使用量	ℓ	23,589	21,446	18,391
灯油使用量	ℓ	2,953	2,953	3,142
LPG使用量	m ³	0	0	0
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	570	569	617
水使用料(上水及び地下水)(注2)	m ³	36	44	41
総排水量(河川)(注3)	m ³	36	44	41

(注1) 2018年度～2020年度の電力排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)H29年度調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを適用しています。

(注2) 本店は公共水道が敷設されておらず、地下水(動力を使用しない湧水)を利用しており、測定不可のため使用量に含まれていません。

水道水を使用する湊支店は生活用水(飲用水、手洗い)として使用しています。

(注3) 排水量は支店が使用した水道水使用量を示します。本店は河川放流していますが、湧水を測定できないため総排水量に含みません。

(注4) 該当する化学物質の使用はありません。

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

(1) 対象事業所

- ・本店：〒299-1731 富津市田倉 483 番地 22
- ・湊支店：〒299-1607 富津市湊 231-1
- ・建設発生土埋立場：〒299-1731 富津市田倉字東谷 52 番、他

(2) 対象事業活動：

産業廃棄物収集運搬業・処分業(中間処理)、一般廃棄物収集運搬業・処分業(中間処理)、
建設工事業(管工事、浄化槽工事、上下水道等)、燃料販売業(ガソリン、灯油、木炭等の販売)、
小売業(設備、雑貨、LPG、山砂、碎石等建設資材の販売)、建設残土処分業

(3) エコアクション 21 認証・登録番号 0011211

(4) 認証登録日 2020年4月26日

(5) 有効期限 2024年4月25日

3. 環境経営方針

《基本理念》

株式会社錦織商店は、自然豊かな房総半島の山と海に囲まれた富津市にあつて、自然の恵みである森林資源を燃料(薪炭)とする事業を皮切りに、ガソリン等の燃料販売、廃棄物の収集・運搬、リサイクル事業、及び上下水道に係る設備工事等、生活に密着した事業を通じて地域と共に歩んできました。これからも課題とチャンスを踏まえ、自然環境を守り循環型社会の実現に貢献するとともに、環境に配慮した事業活動を推進します。

《環境経営方針》

私たちは、EA21 環境経営システムを構築し、自主的・積極的に環境負荷の継続的な削減、法規制等の要求事項を順守するとともに汚染の予防に取り組み、課題とチャンスを踏まえて以下を推進します。この環境方針は開示します。

1. 地球温暖化防止では、収集運搬や車両系建設機械等に使用する燃料の削減に努めます。
また、事務所では節電に努めます
2. 建設発生土やがれき並びに廃棄物の削減と再資源化に努めます
3. 湧水の保全や節水に努めます
4. 建設土木資材のグリーン調達や事務用品のグリーン購入を推進します
5. 桜並木の維持管理に努めます
6. 従業員へ環境教育を行い、節電や節水等に心がけ、又環境問題や環境法令に関する理解や順守の重要性、事業活動が環境へ与える影響とこれを予防することの役割等を認識させます

制定 2015年8月1日

改定 2021年8月1日

株式会社錦織商店

代表取締役 錦織 浩美

4. 環境経営目標

2020年度実績から2021年度～2023年度の中期3カ年計画は以下の様に決めました。

項目		単位	基準年2020 年度実績	2021年度 目標値	2022年度 目標値	2023年度 目標値	
売上高	産廃処理業、建設業、その他	百万円	786	786	786	786	
	2020実績維持						
収集運搬量	一般廃棄物	t	887	60	70	80	
	産業廃棄物	t	19,156	19,000	19,100	19,200	
中間処理量	一般廃棄物	t	3,686	4000	4000	4000	
	産業廃棄物	t	41,806	41,900	42,000	42,100	
電気 使用量	湊支店	使用量	kWh/年	7,073	7,000	7,000	7,000
	本社			93,520	93,000	92,000	91,000
燃料 使用 量	軽油原単位	原単位	L/t	3.57	3.64	3.66	3.68
	軽油使用量 (車両+重機+発電機の合計)	使用量	L/年	233,809	236,147	238,508	240,893
	(運搬車輛用)			125,943	120,000	119,000	118,000
	(重機用)			74,893	75,000	75,000	75,000
	(発電機用)			32,973	32,000	31,000	30,000
	ガソリン(全社)	使用量	L/年	21,446	2020年度実績維持		
					22,000	22,000	22,000
灯油(全社)	使用量	L/年	3,499	2020年度実績維持			
				3,500	3,500	3,500	
二酸化炭素 排出量	・CO2原単位	原単位	kg-CO2/t	10.95	11.16	11.21	11.26
	・CO2排出量	総量	kg-CO2/年	717,521	724,660	730,384	736,171
水使用量	水道水(湊支店)	使用量	m ³	44	2020年度実績維持		
					44	44	44
産廃の再資 源化推進	受託した産廃の再資源化	再資源化率	%	99.52	2020年度実績維持		
	自社建設工事に伴う廃棄物の再資源化	再資源量	%	96.98	2020年度実績維持		
自社廃棄物 の削減	OA紙(全社)	使用量	枚	25,000	2020年度実績維持		
					25,000	25,000	25,000
グリーン購入(全社)		購入比率	%	事務用品のグリーン購入実施			
環境配慮(湧水施設の維持管理)		—	—	—	水源の保守点検、給水配管の清掃		

2018年度～2020年度の電力排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)H29年度調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを適用しています。
化学物質の使用はありません。

【中期環境経営目標の主要な項目】

- ② 収集運搬量と中間処理量は基準年度実績から毎年 1%増加する。
- ③ 電気使用量は、支店は 2017 年度実績維持、処理場は中間処理量当たりの原単位を基準年度から毎年 0.01 改善する。
- ④ 軽油使用量は(収集量+中間処理量合計当たりの原単位を基準年度から毎年 0.01 改善する。
内訳(収集車輛、重機、発電機)は 2018 年度実績を把握、2019 年度以降目標管理する。
- ⑤ ガソリンは基準年度実績維持とする。
- ⑥ 水、OA 紙は基準年度実績を維持する。
- ⑦ 自社の一般廃棄物、グリーン購入は進捗管理表にて月次実施状況を評価する。

5. 環境経営計画(2021 年度～2023 年度)

類別	項目	環境経営計画の主な取組み施策	責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減 (全社)	①節電告知ラベル貼付	全社
		②エアコンの省エネ運転	〃
		③不必要な照明消灯及び減灯	〃
		④クールビズ・ウォームビズの実施	〃
		⑤省エネ型製品・機器への切り替え	〃
		⑥照明のLEDへの切り替え	〃
		⑦ブラインド・カーテンの利用による熱出入り調整	〃
		⑧ポンプの省エネ運転	スタンド部門
軽油・ガソリン使用量の削減	(発電機)	①エコドライブ順守・徹底	運搬部門責任者
		②搬送時の効率的なルートを選択、待機時間短縮	工場長
		③一般道は60km以下の速度で走行	
		④早めのシフトチェンジでエンジン回転数を1500回転以下にする	
		⑤燃費管理データ収集	
		⑥ラジエーターフィルターのエアブローを小まめに実施する	
		⑦暖機運転、冷機運転以外のアイドリングストップ	
		⑧重機の過負荷防止	
		⑨重機のエコモード運転	
		⑩重機のアイドリングストップ	
		①発電機の2台稼働による燃料削減	
		②エアークリーナー、燃料エレメントの点検整備	
廃棄物削減	受託産廃の再資源化	①分別の徹底	
	自社廃棄物廃棄物の削減	①ペーパーレス化推進	事務部門長
		②使用済み用紙、OA紙の裏紙利用	
		③使用済み封筒の再利用	
		④分別徹底	工場長
水使用量削減	水使用量の削減	①水の出っぱなし注意	事務部門長
		②漏水点検	
		③節水コマ設置	
		④節水ラベル貼り付け	
		⑤散水、洗車の節水	
産廃の再資源化推進	埋立処分量の削減	①廃棄物の分別徹底	工場長
	焼却処分量の削減	②委託処分先の選定	
グリーン購入	エコ商品購入	①事務用品購入時はエコマーク商品の選定	事務部門長
製品・サービスへの環境配慮		①水源の保守管理	工場長
		②給水配管の清掃	
		③処理場周辺の環境保全を継続する。	

【中期環境経営計画の主要な項目】

- ①活動テーマ毎に設定した取組み施策について各責任者の下で展開する。
- ②年度毎に各自に所属する部門のテーマから重点的に取り組む課題についてポケットブックに記載する。管理責任者は目標達成度や取組み状況から個別に評価し、次年度に繋げる。

6. 環境経営目標の実績及び次年度の取り組み

6-1. 【2021年度環境経営目標の実績】

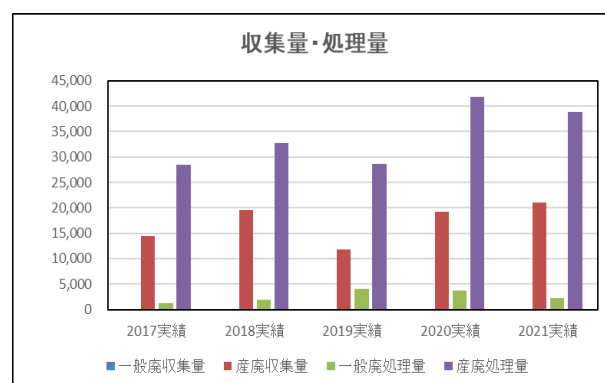
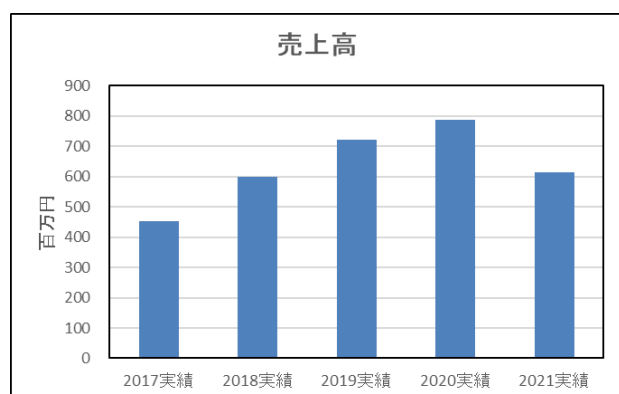
(年度：8月～7月)

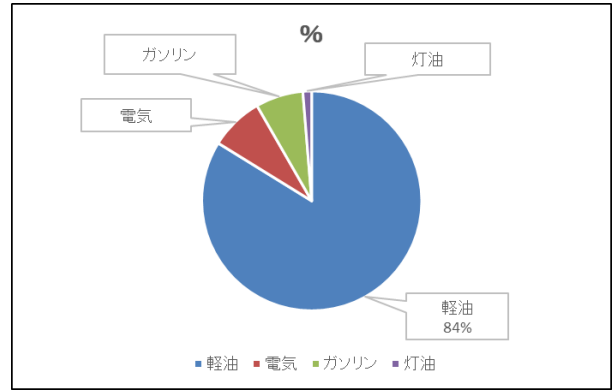
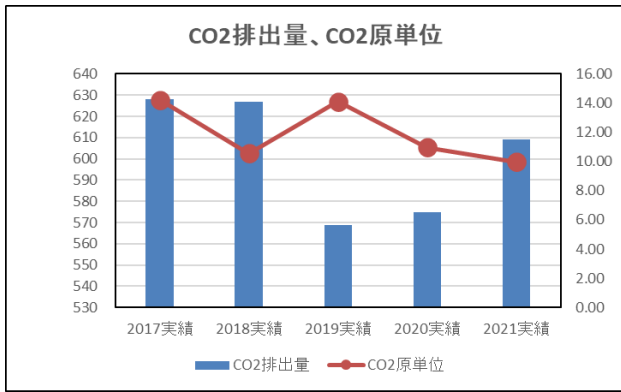
項目	主な活動	単位	2021年度 計画	2021年度 実績	達成率 (%)	評価
収集運搬量(一般廃棄+産廃)		t	19,060	21,036	110	◎
中間処理量(一般廃棄+産廃)		t	45,900	41,330	90	×
電気使用量の削減	節電の徹底	kWh	101,095	103,572	98	×
(湊支店)		"	7,000	6,533	107	○
(処理場)		"	94,095	97,039	97	×
(処理場原単位)		kWh/t	2.05	2.35	87	×
軽油使用量の削減	エコドライブ	ℓ	231,258	198,096	117	◎
軽油原単位	"	ℓ/t	3.56	3.18	112	◎
ガソリン使用量の削減	"	ℓ	22,000	18,391	111	◎
灯油使用量の削減	暖房機器の適 正使用	ℓ	3,500	3,142	111	◎
CO ₂ 削減	節電、エコド ライブ	t-CO ₂	703	609	115	◎
CO ₂ 原単位	"	t-CO ₂ /t	10.82	9.90	110	◎
水道水使用の削減	節水	m ³	44	41	107	○
自社廃棄物の削減	OA紙削減	枚	25,000	12,5000	200	○
産廃の再資源化推進	受託産廃の再資 源化	%	99.52	98.86	99	×
	自社建設工事に 伴う廃棄物の再 資源化	%	96.98	100.00	100	○
グリーン購入の推進	事務用品購入	—	チケット	実施	実施確認	○
環境配慮	湧水施設の維 持管理	—	維持管理	実施	実施状況 は良好	○

◎は達成率110%以上、○は達成率100～109%又は実施状況が良、×は達成率100%未満

【2021年度の主な環境経営目標の達成状況】

- ①収集運搬量は達成したが中間処理量は未達成。
- ②電気使用量は湊支店は節電の徹底で目標達成。しかし、本店はエアコン暖房の使用増で未達成であった。
- ③軽油使用量は産廃収集量の減少で目標達成、原単位も達成であった。
- ④ガソリンは社用車の更新で目標を達成した。8t ダンプ、10t キャブオーバー、3t コンテナ車3台を低燃費車にした
- ④灯油は目標達成であった。(ストーブの使用を監視した)
- ⑤水使用量は節水の浸透で達成、自社廃棄物のOA紙は電子化と裏紙使用で大幅に達成した。
- ⑥グリーン購入、自社廃棄物の分別徹底、湧水施設の維持は月次評価でも問題は無かった。





6-2 その他トピックス

2021年6月に太陽光発電施設を設置しました。



2021年6月以降の発電量は106,456kWhでした。

固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギー発電事業の設備		
区分	太陽光発電設備	
再生可能エネルギー発電設備	名称	
	設備ID	AJ51515C12
	設置場所	千葉県富津市高瀬中入谷112-110-3
	出力	49.5kW
再生可能エネルギー発電事業者	氏名	株式会社緑輝商店
	住所	千葉県富津市田舎483番地22
	連絡先	
保守点検責任者	氏名	株式会社緑輝商店
	連絡先	0439-68-1953
運転開始年月日	2021年6月11日	

6-3.緊急時対応訓練

2021年度は収集運搬車両でのヒヤリハットに基づく緊急事態対応訓練を実施しました。

コンテナの荷下ろし作業中



荷下ろしの補助作業者が



突然後退したコンテナの下敷きに



原因はフックの位置が図の様に浅かった為に外れてずり落ちた



フックの位置を確認する事を徹底した。

訓練参加者



6.4 地域社会への貢献

①ちばSDGsパートナー登録制度に認証されました。

1. 関係するSDGs 目標(ゴール)

①貧困 1 貧困をなくそう		②飢餓 2 飢餓をゼロに		③保健 3 持続可能な開発目標を達成しよう		④教育 4 質の高い教育をみんなに	
⑤ジェンダー 5 フレキシブルな働き方を実現しよう		⑥水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に		⑦エネルギー 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	⑧成長・雇用 8 働きがいのある経済を実現しよう	
⑨イノベーション 9 産業と雇用革新を加速させよう		⑩不平等 10 人や国ごとの格差をなくそう		⑪都市 11 住み続けられるまちづくりを	○	⑫消費・生産 12 つぶやみ消費を推進しよう	○
⑬気候変動 13 気候変動に具体的な対策を	○	⑭海洋資源 14 海の豊かさを守ろう		⑮陸上資源 15 陸の豊かさも守ろう		⑯平和 16 平和と公正をすべての人に	
⑰実施手段 17 パートナーシップで目標を達成しよう	○						

2.SDGs 達成に向けた経営方針等

SDGs 推進に取り組む他企業や地域の様々な団体、学校と連携し、持続可能な社会づくりを進めます。

- ・エコアクション 21 環境経営を進め、環境に配慮した経営を進めます。
- ・事業者から排出された廃棄物の再資源化に努めます。
- ・取引事業者様へ SDGs を知ってもらえるよう、普及啓蒙に取り組みます。

2. 各ゴールの具体的取り組み

- ⑧エネルギー：EA21 活動で電気、軽油、ガソリン、灯油の削減に目標を定めて取り組みます。
- ⑪都市問題：地域から発生した廃棄物について再資源化に取り組みます。又、適正に処理します。
- ⑫消費・生産：工事で発生した廃棄物は再資源化します。
- ⑬気候変動：気候変動の原因とされる CO2 の発生削減に EA21 活動を通して取り組みます。
- ⑰実施手段：環境法令に関連する業務遂行に当たっては常に法令遵守に努めていますが、最新法令や解釈等については関係先と情報を共有し対応します。



②地域の美観保全

昨年度に引き続き桜並木の維持管理と道路添いの向日葵植えを実施しました。

① 田倉地区桜並木の維持管理

② 向日葵の道並み



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の取組み

7-1. 2021年度環境経営計画の実績評価

実施項目の大半は○評価であるが、△・×の項目は次年度に改善します。

類別	項目	環境活動の取組み施策	責任者	2019評価
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減 (全社)	①節電告知ラベル貼付 ②エアコンの省エネ運転 ③不必要な照明消灯及び減灯 ④クールビズ・ウォームビズの実施 ⑤省エネ型製品・機器への切り替え ⑥照明のLEDへの切り替え ⑦ブラインド・カーテンの利用による熱出入り調整 ⑧ポンプの省エネ運転	全社 " " " " " " " スタンド部門	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	軽油・ガソリン使用量の削減 (発電機)	①エコドライブ順守・徹底 ②搬送時の効率的なルート選択、待機時間短縮 ③一般道は60km以下の速度で走行 ④早めのシフトチェンジでエンジン回転数を1500回転以下にする ⑤燃費管理データ収集 ⑥ラジエーターフィルターのエアブローを小まめに実施する ⑦暖機運転、冷機運転以外のアイドリングストップ ⑧重機の過負荷防止 ⑨重機のエコモード運転 ⑩重機のアイドリングストップ ①発電機の2台稼働による燃料削減 ②エアークリーナー、燃料エレメントの点検整備	運搬部門責任者 工場長	○ △ ○ ○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
廃棄物削減	廃棄物の削減	①ペーパーレス化推進 ②使用済み用紙、OA紙の裏紙利用 ③使用済み封筒の再利用 ④分別徹底による資源化促進	事務部門長 工場長	△ ○ △ ○
水使用量削減	水使用量の削減	①水の出しっぱなし注意 ②漏水点検 ③節水コマ設置 ④節水ラベル貼り付け ⑤散水、洗車の節水	事務部門長	○ ○ △ ○ ○
グリーン購入	エコ商品購入	①エコマーク商品の選定	事務部門長	○
製品・サービスへの環境配慮		①水源の保守管理 ②給水配管の清掃 ③処理場周辺の環境保全を継続する。	工場長	○ ○ ○

評価 ○:十分な活動であった。△:まだ改善余地があった。×:未実施であった。

7.3 次年度への取り組み

7.2.1 環境経営目標

2022年度は2021年度実績を基に中期計画(2021年度～2023年度)の一部を見直しして取組みます。

項目		単位	2021年度 実績値	2022年度 当初目標値	2022年度 改定値	
売上高						
	産廃処理業、建設業、その他	百万円	614	786	614	
収集運搬量						
	一般廃棄物	t	41	70	50	
	産業廃棄物		20,994	19,100	22,000	
中間処理量						
	一般廃棄物	t	2,170	4,000	2,200	
	産業廃棄物		38,785	42,000	40,000	
電気 使用量						
	湊支店	使用量	kWh/年	6,533	7,000	6,600
	本社	使用量	kWh/年	97,039	93,840	97,000
原単位		kWh/t	2.35	2.04	2.34	
燃料 使用 量						
	軽油原単位	原単位	L/t	3.20	3.55	3.20
	軽油使用量 (車両+重機+発電機の合計)	使用量	L/年	198,096	231,354	205,600
	(運搬車輛用)			115,640	123,437	123,100
	(重機用)			55,641	75,600	56,000
	(発電機用)			26,815	32,317	26,500
	ガソリン(全社)	使用量	L/年	18,391	22,000	19,000
灯油(全社)	使用量	L/年	3,142	3,500	3,100	
二酸化炭素 排出量	・CO2原単位	原単位	kg-CO2/t	9.96	10.78	9.11
	・CO2排出量	総量	kg-CO2/年	609,429	702,731	585,512
水使用量						
	水道水(湊支店)	使用量	m ³	41	44	41
産廃の再資 源化推進	受託した産廃の再資源化	再資源化率	%	2020年度実績維持		
	自社建設工事に伴う廃棄物の再資源化	再資源量	%	2020年度実績維持		
自社廃棄物 の削減						
	OA紙(全社)	使用量	枚	12,500	25,000	13,000
グリーン購入(全社)		購入比率	%	事務用品のグリーン購入実施		
環境配慮(湧水施設の維持管理)		—	—	水源の保守点検、給水配管の清掃		

※電力の二酸化炭素排出量は0.455kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー(株)の平成30年度調整後排出係数の

メニューC 残渣を用いています。化学物質の使用はありません。

【2022 年度環境経営目標について】

- ①収集運搬量と中間処理量は 2021 年度実績の 4%増を見込む。
- ②電気使用量は 2021 年度実績を維持する。
- ③軽油使用量は運搬車両は 2021 年度原単位実績を維持とし、重機と発電機用は 2021 年度実績を維持とする。
- ④ガソリン使用量と灯油使用量は 2021 年度実績を維持する。
- ⑤水使用量、OA 紙使用量は 2021 年度実績を維持する。
- ⑧産廃の再資源化率は分別を徹底し 2020 年度実績を維持する。
- ⑨グリーン購入は事務用品の購入で実施する。
- ⑩環境配慮は湧水施設の維持管理を継続する。

7.2.2 環境経営計画(2018 年度～2021 年度)

2022 年度の環境経営計画は 9 ページの環境活動計画を継続する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反・訴訟等の有無

(1) 法令遵守状況の確認及び評価結果

当社の事業活動に関連する環境法令等は次のとおりです。

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 千葉県廃棄物の適正処理の適正化等に関する条例
- ・ 千葉県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則
- ・ 富津市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例
- ・ 富津市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例
- ・ 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法
- ・ 千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例
- ・ 消防法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法
- ・ 富津市環境条例
- ・ 労働安全衛生法
- ・ オフロード法
- ・ クレーン等安全規則
- ・ 高圧ガス法
- ・ 浄化槽法
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 建設リサイクル法
- ・ 建設業法
- ・ 計量法
- ・ 水道法
- ・ 道路交通法
- ・ 道路運送車両法
- ・ 貨物自動車運送事業法
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 石油液化ガス法

(2) 違反・訴訟等の有無

2022 年 8 月 21 日に順法性を評価した結果、2021 年度(2021.8.1～2022.7.31)は環境関連法規への違反が無いことを確認しました。尚、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は過去 3 年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体の評価

2021年度の業績は一般廃と産廃を合計した収集量は達成しましたが、一般廃と産廃を合わせた処理量は未達成でした。この結果、電気使用量は未達成でしたが、軽油使用量と軽油原単位(収集量+処分量当たり)は目標を達成しました。又、ガソリンも111%の達成でした。CO₂排出量は軽油使用量の削減で大幅達成でした。又、原単位目標も達成しました。EA21活動を通じて節電やエコドライブが浸透していることを再確認しました。

2022年度は2021年度実績から中期環境経営目標の2022年度目標値の一部を改定して目標達成に向けて全員で取り組みます。

(2) 環境経営方針 --- 変更なし。但し、代表者名は変更。

(3) 環境経営目標・環境経営計画の変更 --- 中期環境経営目標の2022年度目標値の一部を改定して取り組む。

(4) 環境経営システム(組織を含む)の変更 --- なし

以上